

## ご意見等に対する区の方考え方

分類テーマ

A 適正配置                      B 閉園対象園                      C 3年保育                      D サービス拡充  
E 跡地活用                      F 認定こども園                      G その他

NO.	分類	意見要旨	件数	区の方考え方
1	A	様々な理由で自転車利用が出来ない方もいる。子育ての応援を考えるのであれば、やはり近くに幼稚園があること、歩いて行ける場所に幼稚園があることが必要。	6	閉園により最寄り園が遠くなってしまおう方がいらっしゃることは申し訳ありません。区としては、通園への負担を考慮し、各地域のバランスも考え、存続園を検討いたしました。
2	A	様々な理由から私立園への就園が難しいお子さんもいる。区立幼稚園への就園を希望する人ができるだけ希望通りに就園できるようにしてほしい。	6	区立幼稚園は、これまでも広く入園希望にお応えしてまいりました。これからも、入園を希望される方が、希望される存続園に就園できるよう努めてまいりますので、就園相談等でご相談いただければと思います。
3	A	閉園した園から先生方が分散し、各園の体制がより充実することを願う。また、先生方にとっても、負担が多くなりすぎないようにして、働き続けたいと思えるようにしてほしい。	3	適正配置による幼稚園教諭の集中的な配置により、より手厚い教育環境の確保と各園の活力維持を図ってまいります。これまでも教員の働き方改革、負担軽減に取り組んできましたが、教員にとって働き続けたい職場となり続けられるよう、さらなる負担軽減等に努めてまいります。
4	A	区立幼稚園を次から次へと閉園させるのではなく、待機児童ゼロのために作られた園庭もない保育所、保育士の足りない保育所、空きの出ている保育所をどうするかを優先的に議論していくべき。	1	待機児童問題、保育の質の充実等については、庁内で連携を図って進めております。今後も、保育園、幼稚園の枠を越えてこどもたちのためになる保育環境の充実に努めてまいります。
5	A	閉園ありきの方針ではなく、保護者ニーズを踏まえ、どうしたら区立幼稚園の役割を全うするために存続できるかを考えてほしい。教育内容の素晴らしい区立幼稚園を残していこうという努力や対策があまりにも感じられない。	2	閉園については、これまでも保護者ニーズも踏まえ、総合的に判断してまいりました。本区としても教育の質の高い区立幼稚園を閉園するのは苦渋の選択であり、存続園においてさらなる教育の充実に努めてまいります。
6	A	閉園しても区立幼稚園のやってきた事、大事にしてきた事は素晴らしい教育内容だと思うので保育園や私立幼稚園にも反映させていくと良い。	1	一部の園は閉園となりますが、区立幼稚園の役割や存在意義は変わりません。区内全体の就学前教育がレベルアップできるよう、引き続き、保育所や私立幼稚園等と連携していきます。
7	A	私立幼稚園と競合してはならない、配慮が必要という考えが納得出来ない。私立幼稚園を保護し、区立幼稚園を閉園させていくのではなく、多様な選択肢を残すべき。	2	区立幼稚園が私立幼稚園と連携や調整を図りながら、それぞれの役割を果たしていくことは大切なことだと考えています。区立幼稚園は多様な選択肢の一つとして、園数は減ることになってしまいますが、区内各地域に存続させ、各園の充実を図ってまいります。

8	A	遠方からの送迎になると今までのような頻繁な親子参加の行事、父母の会の活動等の家庭の負担は厳しくなると思うが、その点の変更する考えがあるのか。	1	園行事は各園で特色を生かしながら、これまでも保護者負担も考慮した上で計画をしております。父母の会の活動については、園児数が減少する中、各園で負担軽減について工夫していると伺っております。今後、各園の園児数が増加すれば、園行事の充実や保護者負担の軽減は一層期待できるものと考えております。
9	A	いずれ閉園になるのかとは思っていたが、あまりにも急だと感じる。	1	現行の基本方針における園児数の将来推計と実績に大きな乖離が生じてきたため、庁内で検討を重ね、今回の見直しを行いました。想定外の閉園は在園児等に大きな影響があることから、園児数の見込める範囲で現行方針を前倒しで改定しています。
10	A	区立幼稚園の未就園児向け遊び場開放は地域の保護者が孤立する事なく、こどもと安全に安心して遊べる居場所であり、重要な交流の場にもなっている。区立幼稚園の閉園は、未就園児とその親子の居場所の喪失にもつながる。	2	かんがるーひろばなど区立幼稚園の取組が地域の子育て支援において高く評価されている点は存在意義の一つと認識しており、存続園においてその役割を引継いでいくよう、努めていきます。
11	A	区立幼稚園が一気に減れば就学前教育スタンダードを身に付けた子も減り、一年生の担任への負担も増えるのではと、サポート体制への不安が募る。具体的な対策等があれば聞きたい。	1	区立幼稚園は文部科学省の幼稚園教育要領に則した、遊びを中心とする総合的な指導を行っており、この考え方を基に就学前教育スタンダードは策定されています。今後は、区立幼稚園が区内の就学前教育施設に働きかけ、全ての幼児が就学前教育スタンダードを意識した教育、保育を受けられるように努力していきます。
12	B	以前より3年保育への要望を出していた。3年保育、預かり保育、給食の無償化などを実施し、区立幼稚園の魅力をもっとアピールすれば入園者数は増える。再検討すべき。	11	これまでもニーズや施設規模等を考慮し、園児数確保に効果があると思われる取組の内、実施可能な取組を行ってまいりました。区立幼稚園のさらなる魅力化、またそのアピール等、今後も園児数確保に資する実施可能な取組について検討してまいります。
13	B	閉園についての判断が急すぎる。今年度は年中の人数が少なくなったが、来年度以降の人数の動向を数年かけてきちんとみて慎重に検討してほしい。	4	今回の改定にあたっては、庁内で検討を重ね、過去数年にわたる園児数の推移を含め検証し、総合的かつ慎重に判断のうえ、対象園を決定しているところです。
14	B	他の区立幼稚園を選ぶと徒歩通園は難しくなるので、地理的にも存続することを希望する。通園できる住民に限られるのは不平等ではないか。	6	閉園により、最寄り園までの徒歩通園への負担が増えてしまう方がいらっしゃることは申し訳ありません。区としては、通園への負担を考慮した上で、各地域のバランスも考え、存続園を検討いたしました。なお、通園の負担等も考慮し、自転車での通園も可能としております。
15	B	つばめ幼稚園はなぜ3年保育で残るのかとの質問に対し「改修をしていて、施設が新しいから」という回答があった。他の園でも改修を進めたり、検討するための話し合いが持たれるべき。	1	施設の改修時期は安全性の確保を第一に、施設の劣化状況や改修費用などから総合的に検討され、計画的に実施されているため、個別の幼稚園を存続する目的で改修時期を変更することは難しいものと考えています。

16	B	区立、私立、保育園ともにいろんな条件を合わせて比較すると、区立幼稚園のほうが費用はかからないのではないかと。そのあたりの比較検討はなされたのか。	1	目的の違う保育所や区の運営ではない私立幼稚園との経費比較によって、区立幼稚園の適正配置を検討することはできないものと考えています。
17	B	江東区（江東区教育委員会）は、現時点の問題を解消することのみにしか考えが及ばず、将来のことについて何ら考慮していない。	1	人口推計やこれまでの園児数推移等、持ち得る判断材料に基づき、将来を見据えて総合的に判断をしております。
18	B	せめて閉園ではなく、子どもたちが集える他の施設への活用、あるいは、最悪でも「休園」としていつでも復活できる状態に維持してほしい。	1	閉園した園につきましては、区内における最適な活用を図ってまいります。また、存続園に教職員の力が結集することにより、教育の質のさらなる向上を図ることができると考えております。
19	B	私立幼稚園になぜそこまで遠慮しているのか。公立幼稚園を設置した意義をなぜ継続しないのか。	1	本区では、私立幼稚園と区立幼稚園が共存を図りながら幼児教育を担ってきた長い歴史があり、連携や調整は必要と考えています。区立幼稚園に求められる役割はこれまでと同様に存続園で担ってまいります。
20	B	民間のように簡単に人員削減することもできず建物の維持経費は掛かるのだから、開園していても閉園していても同じだけ費用はかかる。	1	閉園する園をほかの施設に転換することにより、同じ経費であっても、最適な地域ニーズに応じることができると考えています。
21	B	幼稚園に子どもを預ける魅力やメリットが必要かも知れませんが。「ダンスを教える幼稚園」と言うのはどうか。	1	今後、区立幼稚園の魅力向上につながる取組を検討するにあたり、参考とさせていただきます。
22	B	幼稚園の存続をお願いします。幼稚園の入口から柵の廻りだけでも明るくリフォームしてもらえないか。	1	改修等は計画に基づいて行っておりますが、幼児の教育環境の整備や園の魅力化は重要であります。ご意見を参考に、可能な対策を検討してまいります。
23	B	少人数の幼稚園だからできる保育、教育を大切に、小学校との交流で園児のうちから、小学校生活をイメージでき、学校生活をスムーズにしている。小学校併設に特化した幼稚園として存続する価値がある。	1	本区では、これまでも『保幼小連携教育プログラム』や『就学前教育スタンダード』等を策定し、各園において小学校への円滑な接続を図る教育を行っております。今回、小学校併設園を2園存続することとしておりますが、存続園全園で小学校との交流や接続期の教育をより効果的に進めてまいります。
24	C	3年保育実施の区立幼稚園をもっと拡充してほしい。全園3年保育に移行していけば、入園希望の家庭はもっと増える。	12	保育室数など施設面の制約等もあり、全園で実施することは困難と考えていますが、3年保育に対して、高い保護者ニーズがあることは認識しており、今回の改定では令和7年度より新たに2園で3年保育を開始することとしています。
25	C	枝川幼稚園も2年保育ではなく、3年保育として欲しい。／臨海地区に3年保育の需要はある。／3年保育の区立幼稚園を亀戸地区、大島地区に新設してほしい。	4	存続園において、現段階で保育室数が確保できる園については、すべて3年保育を開始することとしております。なお、基本方針の改定については、人口推計やこれまでの園児数推移、地域ニーズ等を踏まえ、総合的に判断をしております。

26	C	私立幼稚園では3年保育が標準で、競争という意味では、圧倒的に不利に感じる。私立幼稚園経営者も時代の変化によるニーズを理解し、区立幼稚園の3年保育を理解してほしいし、江東区からも理解してもらえぬ働きかけをする必要がある。	2	これまでも区立幼稚園と私立幼稚園が、連携、調整を図りながらそれぞれの役割を果たしてまいりましたが、今後も区立幼稚園のあり方を含め、区内の幼児教育の充実に向け連携、調整に努めてまいります。
27	D	全園で預かり保育を導入してほしい。	9	令和2年度から地域の保育所待機児童の解消に資するために2園で実施しましたが、現在、待機児童は解消されている状況にあります。預かり保育については今回の改定において、今後、保護者負担軽減のニーズや園児の状況を踏まえ、検討していくものとしています。
28	D	週1回始まったお弁当給食の回数を増やしてほしい。／週5回、毎日してほしい。	6	弁当給食の回数増については、現在の実施状況を検証するとともに、食物アレルギーや食中毒の事故発生リスクなどについても慎重に検討していく必要があると考えています。
29	D	毎日の送り迎えは体力と時間と交通費がかかる。幼稚園バスを用意してほしい。	5	区立幼稚園における送迎バスのニーズについては、改定後の適正配置により大きく変化するものと考えており、今後の課題としていきます。
30	D	私立幼稚園では習い事などさまざまな子育てをサポートするための取り組みがなされている。区立幼稚園でも専門家による体操やスポーツや英語など色々なプログラムに触れる工夫をしてほしい。	3	すでに区立幼稚園でも、『特色ある教育活動』として、各園で様々な教育プログラムを取り入れております。今年度からは、「とうきょうすくわくプログラム」を実施し、非認知能力の育成を目指した取組も行ってまいります。今後も、区立幼稚園の目指す教育の充実、魅力向上に努めてまいります。
31	D	教育の質の高さという意味で、強く希望して区立幼稚園に決めたが、説明会に来ない方など多くの方々に周知できる方法がほしい。	1	これまでも、ホームページやポスター掲示、チラシ配布のほか、オンライン説明会、YouTubeなどのSNSによる情報発信を行ってまいりましたが、幼稚園児を増やすことができなかったことを踏まえ、今後もより効果的でわかりやすい周知方法や魅力向上に関する取組について、検討していきます。
32	D	先生の数などで手厚く子どもをみているなど、何か多くの人に理解されそうな特化した魅力を発信できるといい。	1	
33	D	先生が少ないと事故や事件が起きるリスクが上がる。1クラスに2人は欲しい。	1	幼稚園教諭については、毎年の各幼稚園の園児数に応じて行われた学級編制に基づき、配置を行っております。今後も引き続き、適切な運営体制の確保に努めてまいります。

34	D	行事作業も親が行っているが、本来であれば先生がやるべき。幼稚園を利用しているのに負担に感じることがある。	1	区立幼稚園では、保護者と幼稚園が手を携えてこどもたちのためにより豊かな体験ができるようにという願いや、保護者同士の関わりのかきかけになるようにと考え、父母の会活動を行ってきましたが、従来の目的よりも負担感を感じる方が増えているのも現状です。今後は、適正配置により1園あたりの園児数が増えることにより、父母の会における保護者負担も軽減されるものと考えていますが、あわせて、行事の精査や父母の会のあり方について検討していきます。
35	D	2歳児の母です。定期的に交流が図れる場所がほしい。幼稚園のイベントにも参加しているが、時間に限りがありお友達と遊べる時間を確保してあげたい。	1	令和6年度から未就園児を対象として定期的な預かり事業（あずかーる）を区立幼稚園2園で開始しています。今年度の試行状況を検証しながら、事業拡充について検討していきます。
36	E	閉園は仕方がないが、新しいものを作る前に、有効活用できる用途をもっと積極的に近隣居住者にアンケートしてほしい。パブリックコメントを手軽に募集するのではなく、手間はかかるが職員が出向いて意見を集めるべき。	1	閉園後の施設活用については、区民ニーズも把握した上で、全庁的に検討して決定してまいります。こども関連施設も含め、地域の皆様にとって最適な施設となるよう努めてまいります。
37	E	閉園した後、園舎自体はどう活用する予定なのか。また、浮いた財源は何に使用する予定なのか。	1	
38	E	幼稚園が閉園することは非常に残念、せめてその場所をその後も子どもたちの為の施設として活用してほしい。	2	
39	F	区立幼稚園を認定こども園化してほしい。	4	認定こども園に対する考え方については、地域によって様々であり本区では、保育所の待機児童が解消されている中で、保育の定員が増える認定こども園については、検討を取りやめることとしています。江東区では、『保幼小連携教育プログラム』や『就学前教育スタンダード』を策定したり、『江東区連携教育の日』で保育園・幼稚園と学校との連携を深めたりしております。また、幼稚園教員と保育士が共に研究・研修を行ったりする等、連携には力を入れております。
40	F	他県では幼稚園と保育園の機能を合わせたこども園が当たり前らしい。江東区では幼稚園と保育園の連携がまったく感じられない。	1	
41	G	先日説明会が開かれたが、在園児の保護者が対象だった。今後改めて卒園児や次に入ろうとしている地域の保護者、近隣住民や関係者への説明会の開催を求める。	2	今回の改定にあたり、閉園対象園における保護者や近隣町会の代表者などの関係者に対して説明会を開催させていただいております。そのほかの方につきましては、今回のパブリックコメントをその機会とさせていただきます。
42	G	説明会の開催は1か月程度は前もって告知してほしい。また、資料も事前配布してほしい。	1	説明会の周知が遅くなるとともに、資料の事前配布ができず、申し訳ありません。今後には生かしてまいります。

43	G	「幼稚園は保護者が強制的に協力しなければならない事柄が多すぎる」というイメージを払拭できるよう工夫することが区立幼稚園の魅力向上につながる。	1	区立幼稚園では、保護者の参加や関わりを重視していますが、適正配置により1園あたりの園児数が増えることにより、保護者負担も軽減されるものと考えています。 これまでも、ホームページやポスター掲示、チラシ配布のほか、オンライン説明会、YouTubeなどのSNSによる情報発信を行ってききましたが、幼稚園児を増やすことができなかったことを踏まえ、より効果的でわかりやすい周知方法や魅力向上に関する取組について、検討していきます。
44	G	区立幼稚園の良さが周知されなかった事が区教育委員会の力不足と感じる。ずっと前から行動、告知するべきだった。	1	
45	G	幼稚園でも働いている保護者は沢山いた。上手く工夫すれば区立幼稚園に通わせることも出来るということ、選択肢が増えるということを知らない人に伝えていくような努力をしてほしい。	1	
46	G	区立幼稚園に事務員がおらず教諭が給与計算までしていると聞いた。事務員の雇用も優先して検討してほしい。	1	幼稚園教諭の事務負担軽減のため、事務補助を目的とした会計年度任用職員を雇用しています。
47	G	仕事が理由ではなく色々やってくれるから、ただ単に長く預かってくれるからという理由で保育園にしたという話も多く聞く。保護者のニーズに応えるというのが、必要性でなく利便性に偏らないことを願う。	1	区立幼稚園の良さや魅力についてよく理解し、選択していただけるよう努めてまいります。
48	G	園児数が少ないため、先生方にとっても手厚く見られている。ただ、小学校に進学した際に人数が増え、全く環境が変わる事への不安もあるため、区立幼稚園を統合し、1つの園の人数を増やし、運営していくことには賛成する。	1	適正規模での集団教育による各園の活力維持のため、園数を見直し適正配置を行います。人的資源を集中し、より手厚い教育環境の確保を図ります。
49	G	区立幼稚園の父母会は、今の時代に合っていない。保護者の支援が必要な場合は、ボランティアを募るなどし、父母会を廃止すれば、区立幼稚園への入園希望者をより増やすことが出来る。	1	園行事は各園で特色を生かしながら、これまでも保護者負担も考慮した上で計画をしております。父母会の活動については、園児数が減少する中、各園で負担軽減について工夫していると伺っております。今後、各園の園児数が増加すれば、園行事の充実や保護者負担の軽減は一層期待できるものと考えております。
50	G	区立幼稚園に特別支援教育専任コーディネーターが配置され教員の特別支援教育の知識を深めていくことができれば、こども発達センター的な役割を担えるのではないか。	1	区立幼稚園に特別支援教育コーディネーターを配置することにより、各園及び区立幼稚園全体の特別支援教育の充実を図ってまいります。こども発達センターとは役割は異なりますが、連携を一層図ることで、お子さんの支援の充実に資することができると考えております。